

2. 私たちの志

コンセプトワード

地域に生きる。世界に伸びる。

私たちは、震災を通じて、企業の存立基盤が、健全で活力ある地域社会であることを強く再認識しました。今、私たちが根ざす東日本エリア、そして日本は、様々な課題に直面しています。私たちは、地域社会の一員として、地域の皆さまとともにあるべき未来を考え、元気な地域を築くため、自らの使命を果たし、課題解決に向けて「私たちだからできること」を実行します。それが「地域に生きる」です。

しかし、地域に根ざすことは、内向き志向に甘んずることではありません。私たちが使命を果たし続けるためには、私たち自身が常に変化し成長しなければなりません。外の世界に目を向け、新たな一步を踏み出し、外部から知見や技術を積極的に吸収することが、成長の契機となり糧となると考えます。私たちが持っている可能性を花開かせるため、外に向かって果敢に踏み出していくこと、それが「世界に伸びる」です。

これらを、グループ全社員の共通認識とし、一体感のあるグループ経営を実現するため、JR東日本グループの新たなコンセプトワードとします。

2つの重要な柱と6つの基本的な方向性 「変わらぬ使命」と「無限の可能性の追求」

「変わらぬ使命」

震災を契機とした大きな変革期にあっても、JR東日本グループのコアな使命は変わりません。しかし、社会環境の変化により、お客さまや地域の皆さまから期待される内容・レベルは変化していきます。「お客さまの求める安全で品質の高いサービスを提供する」、そして「鉄道サービス・生活サービスの提供を通じて、地域の発展に貢献する」という使命を、改めて経営の重要な柱に位置づけるとともに、社会的な要請にしっかりと応えることができる内容・レベルとするために、不断の努力を続けます。

- (1) 「究極の安全」に向けて ～災害に強い鉄道づくり～
- (2) サービス品質の改革 ～鉄道ネットワークの拡充等～
- (3) 地域との連携強化
～震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化～

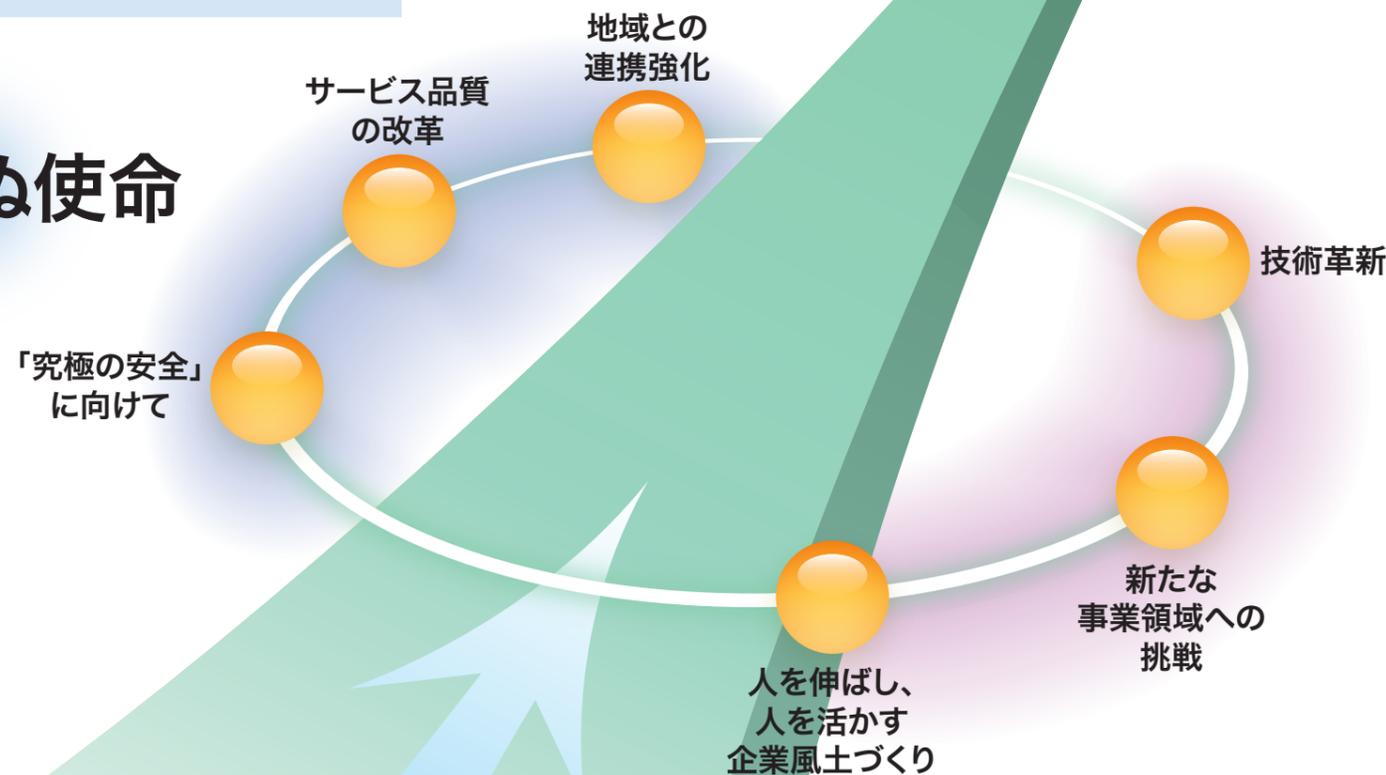
「無限の可能性の追求」

3つの「変わらぬ使命」を、将来にわたって果たし続けていくためには、グループの持続的成長が不可欠です。激しい変化の中で、現状にとどまることは後退することを意味し、常に新たな目標に挑戦し続けなければ、成長は成し遂げられません。当社グループには、そしてそこで働く社員一人ひとりには、さらなる成長を遂げるだけの「無限の可能性」があります。鉄道をはじめとした事業運営を支える「技術」、私たちの事業活動の「領域」、そしてそれらを支える「人」の3つの観点から、グループの「無限の可能性」を追求していきます。

- (1) 技術革新
～エネルギー・環境戦略の構築、ICTの活用、高速化～
- (2) 新たな事業領域への挑戦 ～グローバル化～
- (3) 人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり

地域に生きる。
世界に伸びる。

変わらぬ使命



無限の
可能性の追求